

# 2024年度 事業報告

## 2024年度 事業報告

2024年度事業計画に基づき、各事業を次のとおり実施した。特に2024年度は、本会の運営体制を任意団体から一般社団法人に移行したほか、主たる事務所を霞ヶ関に移転する等して、法人としての活動基盤を一層強化した。

### I. 会員の現況

2025年3月31日現在の会員は、次のとおりである。

会員の種別	会員数	2024年度	
		入会者数	退会者数
正会員（水道事業者等）	59	12	0
正会員（水道事業等関連ベンダー企業）	62	8	0
正会員（プラットフォーム運営事業者）	1	0	0
賛助会員	1	1	0
特別会員	9	1	0
計	132	22	0

※議決権対象は正会員の計122者

### II. 事業報告

#### 1. 会議等

##### (1) 総会

###### ①設立総会

開催日：2024年7月30日

場 所：TKP 新橋カンファレンスセンターホール 14C（同所における Web 会議を併用）

議決権を有する正会員（社員）の総数：111者

出席正会員（社員）数：89者（議決権行使書提出者を含む）

議 事：

報告事項：一般社団法人水道情報活用システム標準仕様研究会 定款

第一号議案：役員（案）

第二号議案：管理業務運用規程（案）

第三号議案：事業計画（案）

第四号議案：収支予算書（案）

第五号議案：標準仕様書等の譲受について（案）

<役員>

理事 新 誠一（電気通信大学 名誉教授）

理事 石井 晴夫（東洋大学 名誉教授）

理事 菊池 明敏（総務省経営・財務マネジメント強化事業アドバイザー）

理事 菅又 久直（一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会 業務執行理事）

監事 小平 鉄雄（全国簡易水道協議会 事務局長）

## （２）理事会

### ①第１回理事会

開催日：2024年7月30日

場 所：TKP 新橋カンファレンスセンターホール 14C

理事総数4名中、4名出席

監事総数1名中、1名出席

議 事：

第一号議案：代表理事及び会長・副会長の選定について（案）

第二号議案：特別顧問（案）

第三号議案：部会等運営規程（案）

<代表理事、会長・副会長>

代表理事（会長）新 誠一

理事（副会長）石井 晴夫

理事（副会長）菊池 明敏

理事（副会長）菅又 久直

<特別顧問>

特別顧問 田村 憲久（自由民主党 水道事業促進議員連盟・下水道事業促進議員連盟  
会長）

### ②臨時理事会

開催日：2024年12月20日

場 所：Web 会議

理事総数4名中、4名出席

監事総数1名中、1名出席

議 事：

第一号議案：主たる事務所の移転について（案）

第二号議案：各種規程の制定について（案）

<主たる事務所の移転先>

移転先：東京都千代田区霞が関一丁目4番1号（SENQ 霞が関）

移転日：2025年1月9日

<各種規程>

事務局運営規程、文書取扱規程

### ③第２回理事会

開催日：2025年3月21日

場 所：SENQ 霞が関

理事総数4名中、4名出席

監事総数 1 名中、1 名出席

議 事：

- 第一号議案：2025 年度 事業計画（案）
- 第二号議案：2025 年度 収支予算書（案）
- 第三号議案：経理規程（案）
- 報告事項：職務執行状況の報告について

(3) 部会

①運営検討部会

開催日：2024 年 10 月 23 日、11 月 28 日、2025 年 1 月 28 日、2 月 21 日（計 4 回）

※その他、法人化以前の 2024 年 4 月から 8 月までの間にも計 4 回実施

議 事：正会員の入会承諾について 他

②仕様メンテナンス部会

開催日：2024 年 8 月 19 日～20 日、9 月 24 日、2025 年 2 月 3 日、3 月 10 日（計 4 回）

議 事：標準仕様書改定（案）について 他

(4) WG

①水道事業者 WG

開催日：2024 年 7 月 8 日（ベンダ WG と共同開催）、2025 年 1 月 29 日（計 2 回）

議 事：水道情報活用システムの導入状況等（国土交通省）、  
水道情報活用システムの推進に向けて（経済産業省）、  
水道情報活用システム事例集・ガイドブックの公表について（IPA）他  
※その他、標準仕様準拠アプリケーションサービス・製品を提供するベンダ会員より、  
当該サービス・製品のご紹介

②ベンダ WG

開催日：2024 年 7 月 8 日、2025 年 1 月 31 日（計 2 回）

議 事：水道情報活用システムの導入状況等（国土交通省）、  
水道情報活用システムの推進に向けて（経済産業省）、  
水道情報活用システム事例集・ガイドブックの公表について（IPA）他

(5) SIG

2024 年度内には開催されず、2025 年度からの活動に向け、マッピング SIG 及び監視制御 SIG の開催準備を進めた。

(6) その他

第 4 回コミュニティを 2024 年 5 月 22 日に開催し、監視制御システムにおけるデータプロファイルの最適化等について意見交換した。

## 2. 事業

(1) 水道情報活用システム標準仕様書の管理業務（仕様書管理事業）

上記 (3) ②の仕様メンテナンス部会並びに (4) WG 等における報告・審議を経て、2024 年 10 月 1 日及び 2025 年 3 月 12 日に標準仕様書の改定要求書（CR）を提出し、各々承認

された。

(2) 水道情報活用システムの普及促進業務（普及・広報事業）

① 事業者交流会（全国説明会）の実施

本年度に開催した事業者交流会の実施状況は、次のとおりである。

開催日	開催地	参加者数	事業者数	個別相談
2024年11月6日	長野（共催）	23名	12事業者	3事業者
11月8日	盛岡	19名	12事業者	4事業者
11月12日	青森	26名	17事業者	3事業者
11月21日	埼玉（後援）	45名	30事業者	6事業者
2025年2月12日	京都（共催）	31名	18事業者	7事業者
2月17日	名古屋	32名	17事業者	8事業者
計		176名	106事業者	31事業者

② 個別要請に応じた説明対応等

前号のほか、2024年11月6日開催の水道広域化検討会議（福岡県北九州圏域）、同年12月19日開催の広域連携検討会議（長野県佐久圏域）、2025年3月12日開催の上下水道部電算システム等最適化検討部会（埼玉県草加市）等において個別要請に応じた説明対応を実施した。

③ ウェビナーの実施等

2024年10月28日に開催したウェビナー（日本水道新聞社と共催）では、709名の聴講登録・参加があった。また、特別セミナーについては、2025年度の開催に向け準備を進めた。

<プログラム>

第1部：上下水道一体化・水道DX等に係る政策動向・施策に関する講演

第2部：パネルディスカッション「公営企業が抱える課題解決に向けたDX推進のあり方」

④ 本会の目的達成に資するコンテンツの充実

本会のWebサイトにおいて、「標準仕様準拠アプリケーションサービス・製品一覧（接続確認済み）」の拡充を図ったほか、随時の情報発信を実施した。

⑤ 独立行政法人情報処理推進機構（以下、「IPA」という。）等との連携

上記(2)②における広域連携検討会議（長野県佐久圏域）では、IPAと本会事務局が同行して説明対応を実施したほか、水道情報活用システムの普及・広報に向け適宜の連携等を進めた。

(3) 水道情報活用システムに関する調査研究業務（調査事業）

2025年3月4日、水道情報活用システムの導入事業者である奈良市企業局の協力を得て、現場運用状況等に関するパイロット視察調査を実施した（研究会役員ら計10名参加）。

以上